

◇子どもたちの主体性を育む

教師は、授業の中での子どもの対話を通して「何でかな?」「どうしてだろう?」といった問いを引き出し、自ら「やってみよう」「こうしたらどうかな」といった学びたい意欲を持たせる工夫をしています。

例えば、授業において積極的にペアやグループでの対話を取り入れていきます。児童生徒が自分の考えを上手に伝えるため試行錯誤し、相手の考えを聞いて、自分の考えを広げ、深めることができるからです。

そのためには、教師と児童生徒の相互の信頼や、児童生徒同士の温かい人間関係を築き、子ども同士が自分の考えや思い等を安心して表現できる学級づくりを目指しています。



◇電子黒板の活用



学校では、様々な教科において、電子黒板を活用しています。

電子黒板は、これまでの黒板、教科書やノートで行われた授業スタイルと比べて、視覚的に伝えることで子どもたちの学習に対する興味や関心を引くことができ、より分かりやすい授業が行われることが期待されます。

算数の図形展開の授業では、図形が動くことにより、イメージしやすくなり思考力が高まっています。また、子どもたちが考えた複数の解き方を比較して見せることができ、自分とは異なる新しい考えに気づくなどの効果もあります。

また、前回の授業の書き込み内容を

保存して、振り返りが容易にできるため、学習の定着にも役立てています。

◇教師の授業力向上

自ら学ぶ意欲を持った子どもたちの育成や、学力の向上を図るためには、教師自身の勉強やスキルアップが不可欠です。各学校では、「授業力」の向上に向けて、様々な取り組みを行っています。

教科や学年の枠を超えて、教師同士が互いの授業の様子を参観しあう学校単位での校内研修を行っています。また、小中学校の連携を深めるために、中学校ブロックで、教師の授業公開と研究会を行うなど、効果的な指導方法等について意見交換を行い、「授業力」の向上に努めています。

また、学力向上に成果をあげている先進校を視察し、学校での取り組みや授業づくりなどを学び、授業に活かしています。

今後は、自ら学ぶ意欲を持った子どもたちを育成し、確かな学力を身に付けるため、個々の教師の知識や経験を他の教師と共有し、全ての教師が同じ方向に向かって、子どもにとってよりわかりやすい授業づくりに努め、魅力ある学校づくりに取り組んでいきます。

◇幼稚園教育の充実

幼稚園での「生活や遊び」を通して培った総合的な力が、小学校以降の学習を学ぶ力につながっていきます。幼稚園での「生活や遊び」を通して豊かな感性や社会性等を身に付け、自立できる子どもたちを育てるために取り組んでいます。

本市では具体的実践三項目を意識した保育を行っています。

- ◆聞く・話す力を育てる保育実践
- ◆好奇心や探究心を育む環境構成
- ◆規範意識の芽生えを培う保育実践

